夏は来ぬ

作

詞

佐

小学校国語 No.E17

学 年

中•高

歌詞の鑑賞文を書こう(⑱夏は来ぬ ステップ1)

年 氏名 組

※ こ の 後

の歌

詞

inは省略、

しています。

○言葉の意味 早乙女…田植えをする若い女の人。

もすそ…着物のすそ。

ねの苗。

うの花 時ときぎす しのび音もらす
夏は来ぬ \mathcal{O} 早も来なきて におうかきねに

玉苗植うる 早乙女が さみだれの もすそぬらして 夏は来り そそぐ山 め . 田 に

1々木信! 綱 夏は来ぬ」の歌の歌詞には、 昔のことばがつかわれています。どんな意味か考えながら、下のらんにうつして書きましょう。

小学校国語 No.E17

うの花

.<u>.</u>

におうかきねに

学 年

高

早乙女…田植えをする若い女の人。 さみだれ…五月雨。五月ごろにふる雨。

時鳥…夏にやってくるわたり鳥

うの花…うつぎの花。

来ぬ…来た。

○言葉の意味

中・

玉苗…いねの苗。 もすそ…着物のすそ。 歌詞の鑑賞文を書こう(⑱夏は来ぬ ステップ2)

> 年 組 氏名

> > さみだれの

時鳥 しのび音もらす 早もきなきて

夏は来ぬ

早乙女が そそぐ山田に

玉苗植うる もすそぬらして 夏は来ぬ

※この後の 歌詞 は省略しています。

作 詞 佐 ユ々木信! 綱

夏は・

来 \$ また、

・それぞれの行は、何音と何音の組み合わせになっているだろう。

情景を表す言葉から、 場面の様子を想像してみよう。

また、鑑賞文(読んで気づいたこと、感じたこと、「夏は来ぬ」の歌の歌詞には、昔のことば(文語) よいと思ったことなど)を書きましょう。がつかわれています。何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。

学習日: 月 日 ()

夏は来ぬ

作詞

佐々木信

綱

小学校国語 No.E17

うの花の

におうかきねに

学 年

中 高

> 早乙女…田植えをする若い女の人。 さみだれ…五月雨。五月ごろにふる雨

もすそ…着物のすそ。

時鳥…夏にやってくるわたり鳥

うの花…うつぎの花。

来ぬ…来た。

○言葉の意味

歌詞の鑑賞文を書こう (18夏は来ぬ ステップ2)

さみだれの

そそぐ山田に

氏名 年 組

時島 しのび音もらす

早もきなきて

夏は来ぬ

早乙女が もすそぬらして

玉苗植うる 夏は来ぬ

※この後の 歌詞は省略しています。

> 〔夏は来ぬ 鑑賞文の 例

〇一番も、二番も、五・七・五・七・七・五音の組み合わせになっています。

〇題名の「夏は来ぬ」という言葉は、一番、二番の最後で使われています。

そのほか

〇一番では、においや音(嗅覚、聴覚)で感じる「夏」について書かれてお

り、二番では、みたこと(視覚)で感じる「夏」について書かれている。

「夏は来ぬ」は、昔からよく歌われてきた日本の名

曲です。CDなどで曲をきいて、ワークシートで書い

たことを思い浮かべながら歌詞を読んだり、歌った

りしてみましょう。



(読んで気づいたこと、感じたこと、 よいと思ったことなど)を書きましょう。 がつかわれています。何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。

また、鑑賞文

「夏は来ぬ」の歌の歌詞には、

昔のことば(文語)

学習日: 月 日 ()

小学校国語 No.E17

ほ

たる

 \mathcal{O}

光

学 年

中•高

歌詞の鑑賞文を書こう(⑩ほたるの光 ステップ1)

年 組 氏名

あ S ほ けてぞ今朝 4 た 9 読 る か む \mathcal{O} 年 月 光 日

重ね

9

0

す

ぎ

 \mathcal{O}

戸

を

は

別

れ

ゆ

作詞 稲垣千額

※この後の歌詞は省略しています。

窓

 \mathcal{O}

雪

「ほたるの光」の歌の歌詞には、 昔のことばがつかわれています。どんな意味か考えながら、下のらんにうつして書きましょう。

小学校国語 No.E17

学 年

中•高

ふみ読む・・・本などを読む。

○言葉の意味

歌詞の鑑賞文を書こう (⑲ほたるの光 ステップ2)

あ

けてぞ今朝

は

<

※この後の歌詞は省略しています。

1

0

L

か

年

t

す

氏名 年 組

S

4

読

む

月

日

重

た

る

0)

窓

 \mathcal{O}

ほ ほ たる O光 光

作 詞

稲垣千額

Ť ね 雪 別 つ れ \mathcal{O} 0 戸 ゆ を

> それぞれの行は、 何音と何音の組み合わせになっているだろう。

歌詞から、どのような情景が思いうかぶかな。

また、鑑賞文 また、鑑賞文(読んで気づいたこと、感じたこと、よいと思ったことなど)「ほたるの光」の歌の歌詞には、昔のことば(文語)がつかわれています。 を書きましょう。 何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。 解答例

学習日: 月 月 ()

ほ

たるの

光

また、鑑賞文

(読んで気づいたこと、

「ほたるの光」の歌の歌詞には、

昔のことば(文語)がつかわれています。

感じたこと、よいと思ったことなど)

を書きましょう。

何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。

小学校国語 No.E17

学 年

中

高

ふみ読む・・・本などを読む。

○言葉の意味

歌詞の鑑賞文を書こう(⑩ほたるの光 ステップ2)

氏名 年 組

S

4

読

ほ

る の光 窓 \mathcal{O} 雪

た

む 月 日 重 ね つつ

か 年 t す ぎ \mathcal{O} 戸 を

1

0

L

てぞ今朝 は 別 れ ゆ <

あ

け

※この後の歌詞は省略しています。

稲垣千 額

作

詞

そのほか

・「すぎの戸」は、「杉」と「過ぎ」の両方の意味を持っていると考えられま

す。

「ほたるの光」は、昔から卒業式でよく歌われてき

た日本の唱歌です。CDなどで曲をきいて、ワークシ

だり歌ったりしてみましょう。 下で書いたことを思い浮かべながら、歌詞を読ん



ほたるの光 鑑賞文の一例

〇どの行もは、七音と五音の組み合わせになっています。

〇電気がないころ、ほたるの光や雪に反射する月の光をあかりにして

本を読んでいた様子が書かれています。

小学校国語 No.E17

学 年

中・高

陣営…戦の陣営

いまいずこ…いまはどこにいったのだろうか

雁…がん。わたり鳥。

照りそいし…照らしていた

植うる剣…植えるようにさしてある剣

歌詞の鑑賞文を書こう (②荒城の月 ステップ1)

氏名 年 組

昔の光

1

まいずこ

昔の光いまいずこ 秋 陣営

鳴きゆく雁 植うる剣に \mathcal{O} 霜の色 \mathcal{O} 照りそいし 数見せて

※この後の歌詞は省略しています。

○言葉の意味

花の宴…花見のえん会

春高楼…高いところに立っている城

0 月 花の宴え

春高楼

 \mathcal{O}

めぐるさかずき かげさして

千代の松が枝 わけ出でし

作詞 土井晩翠

荒城 城

千代の松が枝わけいでし…大きな松の枝の間からかげさして…月の光がさしてめぐるさかずき…みんなで飲む酒

「荒城の月」 の歌の歌詞には、 昔のことばがつかわれています。どんな意味か考えながら、下のらんにうつして書きましょう。

小学校国語 No.E17

学 年

> 中• 高

歌詞の鑑賞文を書こう (②荒城の月 ステップ2)

氏名 年 組

○言葉の意味

花の宴…花見のえん会 春高楼…高いところに立っている城

千代の松が枝わけいでし…大きな松の枝の間から めぐるさかずき…みんなで飲む酒 かげさして…月の光がさして

雁…がん。わたり鳥。 陣営…戦の陣営 植うる剣…植えるようにさしてある剣 いまいずこ…いまはどこにいったのだろうか

照りそいし…照らしていた

昔の光 千代の松が枝 いまいずこ 霜も わけ出でし

植うる剣に 鳴きゆく雁の 秋陣営の 照りそいし \mathcal{O} 色 数見せて

昔の光

い

まいずこ

※この後の歌詞は 省略しています。

めぐるさかずき かげさして 月 花の宴 作 詞 土井晩翠

同じところ、

ちがうところはどこだろう。

春高楼の

また、

鑑賞文

(読んで気づいたこと、感じたこと、

よいと思ったことなど)を書きましょう。

がつかわれています。何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。

昔のことば (文語)

荒

城 \mathcal{O} 「荒城の月」の歌の歌詞には、

くりかえされていることばは何だろう。

一番と二番の歌詞を対比して読んでみよう。

小学校国語 No.E17

春高楼の

花の宴

千代の松が枝

わけ出でし

いまいずこ

めぐるさかずき

かげさして

学 年

高

中

照りそいし…照らしていた

植うる剣…植えるようにさしてある剣

雁…がん。わたり鳥

(20荒城の月 歌詞の鑑賞文を書こう ステップ2)

氏名 年 組

昔の光

植うる剣に 鳴きゆく雁の 数見せて

※この後の歌詞は省略しています。

秋陣営の 霜の 色

昔の光 いまいずこ 照りそいし

春高楼…高いところに立っている城 言葉の意味

陣営…戦の陣営 いまいずこ…いまはどこにいったのだろうか 千代の松が枝わけいでし…大きな松の枝の間から かげさして…月の光がさして めぐるさかずき…みんなで飲む酒

花の宴…花見のえん会

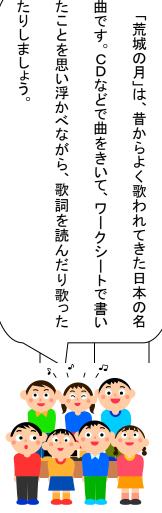
たりしましょう。

〔荒城の月 鑑賞文の一例

〇「昔の光 いまいずこ」という歌詞がくりかえされています。

〇春は栄えている様子、秋にはそれが廃れていく様子が描かれています。 〇春と秋、花と霜、千代の松が枝と植うる剣が対の言葉になっています。

曲です。CDなどで曲をきいて、ワークシートで書い 「荒城の月」は、昔からよく歌われてきた日本の名



「荒城の月」の歌の歌詞には、 鑑賞文 (読んで気づいたこと、感じたこと、 昔のことば(文語) よいと思ったことなど)を書きましょう。 がつかわれています。何度も声に出して言葉のリズムを感じ取りましょう。

また、

荒

城 0)

月

作 詞

土井晩翠